

平成24年度環境政策局運営方針

～ DO YOU KYOTO? (環境にいいことしていますか?) ～



「DO YOU KYOTO?」キャラクター
エコちゃん

平成24年4月

環境政策局

目 次

I 環境政策局運営の総括表	1
II 環境政策局重点取組の概要	3
III 環境政策局の主な事業	8
IV 環境政策局予算のポイント	10

文中の太字で標記されている**キーワード**と「京都市」を組み合わせ、インターネットで検索していただくと、詳しい情報を御覧いただけます。

I 環境政策局運営の総括表

基本方針	平成 24 年度重点取組				平成 23 年度重点取組	
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	取組名	実績
自然環境とくらしを気遣う環境の保全	1 自然環境の保全	- 生物多様性地域戦略の策定に向けた調査・研究等〈新規〉 - 京都市環境影響評価等に関する条例の改正 - 環境レポート（平成 24 年度版）の作成	京の環境共生推進計画	地球温暖化対策室 環境総務課 環境管理課	自然環境の保全	- 鴨川において天然遡上アユに着目した環境学習会を 3 回開催 - 身近な自然の中でのいきもの調査の実施 いきもの発見の報告数 3,348 件 - 環境レポート（平成 23 年度版）の作成
低炭素型のくらしやまちづくりの実現	2 再生可能エネルギー資源活用 の推進	- 太陽エネルギー利用の促進 - 市民協働発電制度の創設〈新規〉 - 小水力発電導入の推進	京都市地球温暖化対策計画 〈2011-2020〉－ 地球にやさしいまち・経済・ライフスタイルを目指して－	地球温暖化対策室	－	太陽光発電システム助成件数 1,566 件
	3 家庭部門における地球温暖化対策の推進	- 低炭素のモデル地区「エコ学区」事業 14 学区で実施 - こどもエコライフチャレンジ推進事業 全市立小学校で実施			家庭部門における地球温暖化対策の推進	- 低炭素のモデル地区「エコ学区」事業 14 学区で実施 - こどもエコライフチャレンジ推進事業 全市立小学校（173 校）で実施
	4 産業・業務部門における地球温暖化対策の推進	- DO YOU KYOTO? クレジットを活用した地域や中小事業者の温室効果ガス排出量削減促進 - 次世代環境配慮型住宅エネルギーネットワーク実証事業〈新規〉 - 中小事業者の省エネ・節電の取組への総合的な支援		地球温暖化対策室 環境管理課	産業・業務部門における地球温暖化対策の推進	- DO YOU KYOTO? クレジット制度の創設 「スマートシティ京都研究会」構成メンバーによる京都岡崎ゼロエミッションパーク事業化可能性調査の実施 - 特定事業者から提出された事業者排出量削減計画書に基づく総合評価及び公表 - 中小事業者への省エネ診断の実施 30 件 - KES 認証登録証保有件数 954 件
	5 環境未来都市への選定	環境未来都市への選定		地球温暖化対策室	環境未来都市の実現	環境未来都市への応募（非選定）
ごみを出さない循環型社会の構築	6 ごみの発生抑制・再利用（2R）の推進	- 容器包装材の削減に関する条例の制定に向けた検討〈新規〉 - KYOTO エコマナーの運用 - イベント等のエコ化の推進 - 大型ごみとして出された家具のリユースモデル実験の実施 - 環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」の実施	みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン －京都市循環型社会推進基本計画（2009－2020）－	循環企画課	ごみの発生抑制・使えるものの再使用の推進	- レジ袋削減に向けたパネルディスカッションを開催 来場者数 約 100 名 - KYOTO エコマナーの創設 商品交換件数 6,462 件（8～12 月） - イベント等でのリユース食器の普及促進 23 イベントへ助成 - 大型ごみとして出された家具のリユースモデル実験 リユース家具引取件数 85 件 - 環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」 67 回実施、1,385 人が参加 - 第 6 回 3 R 推進全国大会 in Kyoto を開催 来場者数 約 12,000 名

基本方針	平成 24 年度重点取組				平成 23 年度重点取組	
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	取組名	実績
ごみを出さない循環型社会の構築	7 リサイクルの推進	- 地域や学校単位での生ごみ、落ち葉等の堆肥化の取組の推進 - 紙ごみのリサイクルの更なる推進に向けた取組の実施〈新規〉 - 移動式資源回収モデル事業の実施 - 使用済てんばら油回収拠点の拡大 - コミュニティ回収の拡大	みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン — 京都市循環型社会推進基本計画（2009－2020） —	循環企画課 まち美化推進課	リサイクルの推進	- 使用済てんばら油回収拠点数 1,647 箇所（累計） - コミュニティ回収登録団体数 1,981 団体 - 移動式資源回収モデル事業の実施 7 地域、21 回実施 参加者数 1,017 人
	8 事業ごみ減量に向けた取組の推進	- 商店街や関係団体等を通じたごみ減量に関するワークショップ、講習会の開催 - 事業ごみ減量に関するニュースレターの発行 - 大規模事業所、食品関連事業者への減量指導 - 業者収集マンションに対するごみの分別啓発 - 事業系廃棄物ハンドブック（仮称）の発行		事業系廃棄物対策室 北部環境共生センター 南部環境共生センター	事業ごみ減量に向けた取組の推進	- ごみ減量に関するワークショップ（三条会商店街）、講習会（飲食店を対象）の開催 - 事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を 5 回発行 - 大規模事業所への減量指導 減量計画書提出件数 1,958 件（提出率：88.8%）、立入指導件数 1,397 件 - 食品関連事業者への減量指導 減量計画書提出件数 44 件（提出率：100%） - 業者収集マンションへの分別排出等に関する啓発の強化 届出書の提出率：100% - 一般廃棄物収集運搬許可業者に対する指導・育成の充実のための取組 全業者（84 業者）への巡回調査の実施 処分基準の改正及び遵守事項の制定 「一般廃棄物収集運搬業従事者必携ハンドブック」の作成及び研修会の実施 自己PR制度の施行 など
	9 適正処理とエネルギー回収の最大化	- クリーンセンター等における廃棄物の適正処理及び効率的な運営 - クリーンセンターでのごみ焼却熱発電によるエネルギー回収の最大化 - クリーンセンターの 4 工場から 3 工場体制への移行 - 焼却灰溶融施設の本格稼働及び安定的な運営		施設管理課 施設整備課 クリーンセンター埋立事業管理事務所 魚刀リサイクルセンター 生活環境美化センター	—	- クリーンセンター等における廃棄物の適正処理 - クリーンセンターでのごみ焼却熱発電によるエネルギー回収の最大化
災害廃棄物の広域処理	10 災害廃棄物の広域処理	—	—	施設管理課 施設整備課 クリーンセンター	—	—
地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進	11 地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進	- 地域における自主的なごみ減量、リサイクル活動の拡大 - ごみ収集業務の市民満足度（市民アンケート）に基づく、ごみ収集業務評価委員会による評価及び改善	京都市ごみ収集業務改善実施計画	まち美化推進課 まち美化事務所	地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進	6 つのまち美化事務所を 3 つに再編（全 7 事務所に再編） - 地域における自主的なごみ減量、リサイクル活動の拡大 - ごみ収集業務の市民満足度（市民アンケート）に基づく、ごみ収集業務評価委員会による評価及び改善

Ⅱ 環境政策局重点取組の概要

基本方針1 自然環境とくらしを気遣う環境の保全

1 自然環境の保全（地球温暖化対策室、環境総務課、環境管理課）

多様な生物を保全し、自然と共生する社会の実現を目指し、生物多様性の保全・持続可能な有効利用のための行動計画である「生物多様性地域戦略」の策定に向け、必要な調査・検討等を行います。また、環境影響評価法が改正されたことに伴い、計画段階における環境配慮手続の義務化に加え、本市独自に、より小規模の開発事業にも計画段階における環境配慮を求めるなど、環境アセスメント手続の取組を更に強化します。

取組目標

- ・ 生物多様性地域戦略の策定に向けた調査・検討等〈新規〉
- ・ **京都市環境影響評価**等に関する条例の改正
- ・ **環境レポート**（平成24年度版）の作成

平成23年度の実績

- ・ 鴨川において天然遡上アユに着目した環境学習会を3回開催
- ・ 身近な自然の中でのいきもの調査の実施 **いきもの発見**の報告数 3,348件
- ・ 環境レポート（平成23年度版）の作成（右図）



基本方針2 低炭素型のくらしやまちづくりの実現

「京都市地球温暖化対策計画〈2011-2020〉」に基づき、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進します。

2 再生可能エネルギー資源活用の推進（地球温暖化対策室）

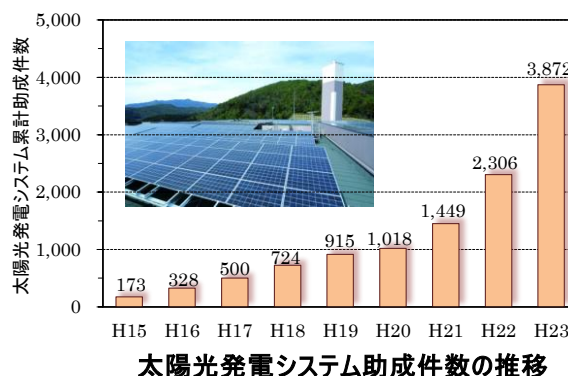
原子力発電に依存しない安心安全なエネルギー社会の早期実現に向け、**再生可能エネルギー**の飛躍的な普及拡大と地産地消の取組をこれまで以上に加速します。なかでも、太陽エネルギーを最大限に活用するため、太陽光発電システムの設置助成に加え、太陽熱利用システム及び蓄電池の設置助成制度を創設します。また、誰もが再生可能エネルギーの普及に関わることができる「市民協働発電制度」の創設及び水垂埋立処分地への誘致を進めてきた大規模太陽光（**メガソーラー**）発電所の今夏までの稼働を目指します。

取組目標

- ・ 太陽エネルギー利用の促進
- ・ 市民協働発電制度の創設〈新規〉
- ・ 小水力発電導入の推進

平成23年度の実績

- ・ **太陽光**発電システム助成件数 1,566件



3 家庭部門における地球温暖化対策の推進(地球温暖化対策室)

低炭素社会実現に向けた先進的な取組を実践するモデル地区「**エコ学区**」において、地域ぐるみでのライフスタイル転換を図るとともに、市民、事業者の皆様の御協力のもと、引き続き、省エネ・節電の取組を積極的に推進します。また、**こどもエコライフチャレンジ推進事業**(写真)を全市立小学校で実施します。

取組目標

- ・ 低炭素のモデル地区「エコ学区」事業 14 学区で実施
- ・ こどもエコライフチャレンジ推進事業 全市立小学校で実施

平成 23 年度の実績

- ・ 低炭素のモデル地区「エコ学区」事業 14 学区で実施
- ・ こどもエコライフチャレンジ推進事業 全市立小学校(173 校)で実施



4 産業・業務部門における地球温暖化対策の推進(地球温暖化対策室、環境管理課)

平成 23 年度に創設した **DO YOU KYOTO? クレジット**(排出削減量を経済的価値のあるクレジットとして認証し、このクレジットを大規模事業者やイベント等実施者が使う京都独自の仕組み)を活用し、地域団体や中小事業者による温室効果ガスの排出削減を促進します。また、京都ならではのスマートコミュニティ構築に向け、太陽電池、燃料電池、蓄電池及びこれらを制御する HEMS(住宅エネルギー管理システム)を備えた次世代環境配慮型住宅の複数設置と、独立した電力ネットワーク形成の下での居住実証実験の実施に向けた取組を、産学公の連携により進めていきます。

取組目標

- ・ DO YOU KYOTO? クレジットを活用した地域や中小事業者の温室効果ガス排出量削減促進
- ・ 次世代環境配慮型住宅エネルギーネットワーク実証事業(新規)
- ・ 中小事業者の省エネ、節電の取組への総合的な支援

平成 23 年度の実績

- ・ DO YOU KYOTO? クレジット制度の創設
- ・ 「スマートシティ京都研究会」構成メンバーによる京都岡崎ゼロエミッションパーク事業化可能性調査の実施
- ・ 特定事業者から提出された事業者排出量削減計画書に基づく総合評価及び公表
- ・ 中小事業者への省エネ診断の実施 30 件
- ・ K E S 認証登録証保有件数 954 件

5 環境未来都市への選定(地球温暖化対策室)

民間企業、市民、大学等オール京都の総力を結集しながら、「エネルギー政策推進プロジェクトチーム」を中心に、全庁体制で環境未来都市構想を検討し、「環境未来都市」への選定をめざします。

基本方針 3 ごみを出さない循環型社会の構築

6 ごみの発生抑制・再利用（2R）の推進（循環企画課）

市民の皆様の家庭ごみ有料指定袋制への御協力などにより、ごみ量はピーク時（平成 12 年度）の約 6 割まで減少しています。

循環型社会の構築に向け、「みんなで目指そう！**ごみ半減！**循環のまち・京都プラン」における取組を推進することにより、市民一人ひとりのごみ減量行動を促し、人々のライフスタイルを転換することを目指します。

特に、家庭ごみのうち重量で約 20 パーセント、容積で約 60 パーセントを占める容器包装材の削減に向けた方策を推進します。

取組目標

- ・ 容器包装材の削減に関する条例の制定に向けた検討〈新規〉
- ・ KYOTO エコマネーの運用
- ・ イベント等のエコ化の推進
- ・ 大型ごみとして出された家具のリユースモデル実験の実施
- ・ 環境施設見学会「ごみ減量**エコバスツアー**」の実施

平成 23 年度の実績

- ・ レジ袋削減に向けたパネルディスカッションを開催 来場者数 約 100 名
- ・ KYOTO エコマネーの創設 商品交換件数 6,462 件（8～12 月）
- ・ イベント等でのリユース食器の普及促進 23 イベントへ助成
- ・ 大型ごみとして出された家具のリユースモデル実験 リユース家具引取件数 85 件
- ・ 環境施設見学会「ごみ減量**エコバスツアー**」 67 回実施，1,385 人が参加
- ・ 第 6 回 3R 推進全国大会 in Kyoto を開催 来場者数 約 12,000 名



7 リサイクルの推進（循環企画課・まち美化推進課）

可能な限り資源物を回収し、徹底してごみを資源に変えることを目指して、家庭ごみの減量化と資源分別・**リサイクル**の機会の拡大及び地域コミュニティの活性化を推進します。また、**生ごみ**・紙ごみなどの**バイオマス**の活用を推進します。

取組目標

- ・ 地域や学校単位での生ごみ、落ち葉等の堆肥化の取組の推進
- ・ 紙ごみのリサイクルの更なる推進に向けた取組の実施〈新規〉
- ・ 移動式資源回収モデル事業の実施
- ・ 使用済**てんぷら油**回収拠点（写真）の拡大
- ・ コミュニティ回収の拡大

平成 23 年度の実績

- ・ 使用済**てんぷら油**回収拠点数 1,647 箇所（累計）
- ・ コミュニティ回収登録団体数 1,981 団体
- ・ 移動式資源回収モデル事業の実施 7 地域 21 回実施，参加者数 1,017 人



8 事業ごみ減量に向けた取組の推進（事業系廃棄物対策室，北部環境共生センター，南部環境共生センター）

オフィス，飲食店等の事業者や業者収集マンションの入居者に対し，発生抑制や分別排出等についてきめ細かな啓発を実施するとともに，多量にごみを排出する大規模事業所や食品関連事業者への減量指導を行うなど，**事業ごみ**の減量を推進します。また，ごみ減量活動に積極的に取り組んでいる事業所を「ごみ減量・3R活動優良事業所」として認定することにより，事業者の意識の高揚を図ります。

取組目標

- ・ 商店街や関係団体等を通じたごみ減量に関するワークショップ，講習会の開催
- ・ 事業ごみ減量に関するニュースレターの発行
- ・ 大規模事業所，食品関連事業者への減量指導
- ・ 業者収集マンションに対するごみの分別啓発
- ・ 事業系廃棄物ハンドブック（仮称）の発行

3R（スリーアール）とは

Reduce（リデュース）：発生抑制

ごみになるものの発生そのものを減らすこと

Reuse（リユース）：再使用

ものをそのままの形で繰り返し使用すること

Recycle（リサイクル）：再資源化

ものを再び資源として利用すること

平成23年度の実績

- ・ ごみ減量に関するワークショップ（三条会商店街），講習会（飲食業者を対象）の開催
- ・ 事業ごみ減量ニュースレター「ごみゆにけーしょん」を5回発行
- ・ 大規模事業所への減量指導 **減量計画書**提出件数 1,958 件（提出率：88.8%），
立入指導件数 1,397 件
- ・ 食品関連事業者への減量指導 減量計画書提出件数 44 件（提出率：100%）
- ・ 業者収集マンションへの分別排出等に関する啓発の強化 届出書の提出率：100%
- ・ 一般廃棄物収集運搬許可業者に対する指導・育成の充実のための取組
全業者（84業者）への巡回調査の実施
処分基準の改正及び遵守事項の制定
「一般廃棄物収集運搬業従事者必携ハンドブック」の作成及び研修会の実施
自己PR制度の施行 など

9 適正処理とエネルギー回収の最大化（施設管理課，施設整備課，クリーンセンター，埋立事業管理事務所，魚アラルサイクルセンター，生活環境美化センター）

発生抑制・リサイクルなどの取組を推進してもなお排出されるごみについては，引き続き適正に処理することで，市民生活の安心・安全を守ります。

ごみ減量の取組成果を踏まえ，老朽化した東部クリーンセンターを平成24年度中に休止し，4工場体制から3工場体制に移行することにより，ごみ処理コストの大幅な削減を図ります。一方で，**クリーンセンター**で焼却熱を利用し，高効率な発電を行うことによりエネルギー回収の最大化を目指します。

焼却灰溶融施設については，プラントの安全性等の確保に向けた対策を徹底し，安心・安全な施設として完成させ，安定的な運営を図ります。

また，し尿についても，生活環境保全のため適正に処理します。

取組目標

- ・ クリーンセンター等における廃棄物の適正処理及び効率的な運営
- ・ クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化
- ・ クリーンセンターの4工場から3工場体制への移行
- ・ 焼却灰溶融施設の本格稼働及び安定的な運営

平成 23 年度の実績

- ・ クリーンセンター等における廃棄物の適正処理
- ・ クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化

基本方針 4 災害廃棄物の広域処理

10 災害廃棄物の広域処理（施設管理課、施設整備課、クリーンセンター）

東日本大震災は、未曾有の国難であり、被災地の日も早い復旧復興に向けた最大限の支援と市民の安心安全の確保の両立に努める必要があります。そのため、本市独自の専門家委員会を立ち上げ、大阪湾圏域広域処理場（フェニックス）への埋立てに関する安全性の検証やクリーンセンターでの試験焼却による安全性の検証により、安全性を確保できることが確認できれば、政令市をはじめ廃棄物処理施設を有する自治体とともに災害廃棄物を受け入れる方向で、焼却や埋立てに関する具体的な検討を行っていきます。

基本方針 5 地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進

11 地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進（まち美化推進課、まち美化事務所）

市民との協働による環境施策をさらに推進するため、多様な方法を用い、わかりやすく周知するとともに、7つに再編した**まち美化事務所**や各区・支所の**エコまちステーション**を中心とした地域との細やかな連携を広げることにより、地域密着型の総合的な環境行政を推進します。

取組目標

- ・ 地域における自主的なごみ減量、リサイクル活動の拡大
- ・ ごみ収集業務の市民満足度（市民アンケート）に基づく、ごみ収集業務評価委員会による評価及び改善

平成 23 年度の実績

- ・ 6つのまち美化事務所を3つに再編（全7事務所に再編）
- ・ 地域における自主的なごみ減量、リサイクル活動の拡大
- ・ ごみ収集業務の市民満足度（市民アンケート）に基づく、ごみ収集業務評価委員会による評価及び改善

Ⅲ 環境政策局の主な事業

平成 24 年度における環境政策局の重点取組以外の主な事業は次のとおりです。



家庭ごみの有料指定袋収入が使われています

自然環境とくらしを気遣う環境の保全

取組名	取組内容	所属等
自動車環境対策	自動車等から排出される温室効果ガス及び二酸化窒素等を削減し、環境負荷を低減するため、京都市自動車環境対策計画(2011-2020)に基づき、エコドライブの普及を図ります。また、市民や事業者を対象とした電気自動車のカーシェアリングの利用促進や、レンタカー事業者やタクシー事業者等への電気自動車等購入補助（府市協調事業）を行うことにより、環境性能の高い次世代自動車の普及促進を図ります。	環境管理課
各種公害対策の継続的实施	市民が健康で快適な生活環境を享受できるよう、大気の常時監視や主要河川の水質調査のほか、法令、条例による騒音・振動・悪臭・土壤汚染などの公害発生防止対策等に着実に取り組みます。	環境指導課 北部環境共生センター 南部環境共生センター

低炭素型のくらしやまちづくりの実現

取組名	取組内容	所管課
「DO YOU KYOTO?」プロジェクト 147 万人推進事業 	京都議定書誕生の地・京都として世界をリードし、国内外の自治体のモデルとなるよう、「DO YOU KYOTO?」を合言葉に市民・事業者とのパートナーシップによる地球温暖化対策に先駆的に取り組みます。	地球温暖化対策室
環境にやさしいライフスタイルへの転換プロジェクト 	地球温暖化を防止し、低炭素社会を実現するためには、一人ひとりが環境にやさしい暮らしを実践することが必要であり、「環境にやさしいライフスタイルを考える市民会議」からの提言を踏まえ、ライフスタイルの転換に向けた意識啓発及び実践行動を促進します。	
国際的な地球温暖化対策の取組	「イクレイー持続可能性をめざす自治体協議体」に加盟し、国内外の自治体との連携を図るとともに、「KYOTO 地球環境の殿堂」、「京都環境文化学術フォーラム」の開催等を通して、本市の取組と地球環境に関するメッセージを京都から世界に向けて広く発信します。	
京都市役所からの温室効果ガス排出量削減の推進	「京都市役所 CO ₂ 削減率先実行計画」に基づき、市内最大の排出事業者である京都市役所からの温室効果ガス排出量の削減を推進します。	

ごみを出さない循環型社会の構築

取組名	取組内容	所管課
ごみ減量推進会議の活動支援 	「普及啓発実行委員会」、「ごみ減量事業化実行委員会」、「地域活動実行委員会」、「2R型エコタウン構築事業実行委員会」の4つの委員会を中心として、ごみ減量・リサイクルに関する活動を引き続き支援します。	循環企画課
各区環境パートナーシップ事業 	自治組織や市民団体などと区役所が協働して実施するごみ減量・リサイクルや、まちの美化などに寄与する活動に対し、助成を行います。	
京都市災害廃棄物処理計画等の改訂 〈新規〉	東日本大震災の発生を受け、取りまとめた防災対策総点検最終報告を踏まえ、京都市災害廃棄物処理計画、同実践行動マニュアルの改訂及び同支援システムの更新を行います。	
「世界一美しいまち・京都」の推進 	「世界一美しいまち・京都」の実現を目指し、市民、事業者、ボランティア団体等との協働により取組を推進するほか、ごみの散乱被害を防止するための防鳥用ネットの貸出や、自主的な清掃活動に対し、申請に基づいたボランティア袋などの給付支援を行うなど、まちの美化の推進を図ります。	まち美化推進課 まち美化事務所
第3次京都市産業廃棄物処理指導計画の推進	京都市の産業廃棄物行政の基本的な方向を示す「第3次京都市産業廃棄物処理指導計画」（平成23年3月策定）に基づき、排出事業者への指導の充実、優良な処理業者の育成に向けた情報公開の推進、啓発や環境教育の効果的な実施等に取り組めます。	事業系廃棄物対策室

手つかず食品をなくしましょう

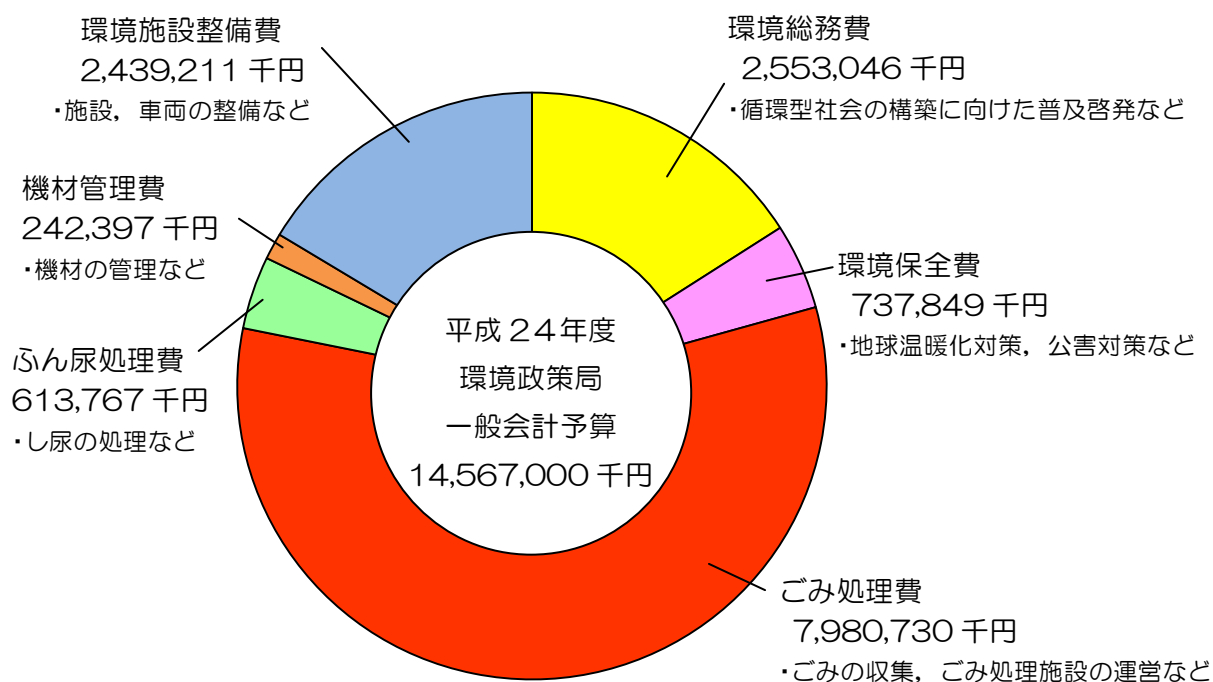
家庭から出る生ごみの**約 1/6** は、まったく口をつけられないまま捨てられた食品、いわゆる「**手つかず食品**」です！

- ☑ こまめに食材を確認しましょう。
- ☑ 買い物前に必要なものをメモして、計画的な買い物を。



Ⅳ 環境政策局予算のポイント

平成24年度の環境政策局の予算は、145億6,700万円（一般会計総額に占める割合2.0%）であり、平成23年度予算（166億1,400万円）と比べると、20億4,700万円の減（前年度比12.3%減）となっています。



家庭ごみ有料指定袋の収入は、次の3つの分野に関する事業に活用しています。

ごみ減量・リサイクルの推進

- ◆ 町内会をはじめ古紙などの回収を実施する団体への助成
- ◆ 電動式生ごみ処理機、コンポスト容器の購入助成
- ◆ リユース食器の利用などイベント等のエコ化の推進 など



まちの美化の推進

- ◆ カラスや風によるごみの散乱を防ぐ防鳥用ネットの貸出し
- ◆ 不法投棄に困っている地域団体に対する監視カメラの貸与 など

地球温暖化対策

- ◆ 家庭から出る使用済てんぷら油の回収拠点の増設や回収を支援する団体への助成
- ◆ 全市立小学校における「こどもエコライフチャレンジ推進事業」の実施
- ◆ 住宅用太陽光発電システム、太陽熱利用システム、蓄電池の設置に対する助成

など

環境政策局 お問い合わせ先

家庭ごみに関するお問い合わせ・ご相談		各 課	
北部まち美化事務所	724-8881	地球温暖化対策室	222-4555
東部まち美化事務所	722-4345	環境総務課	222-3450
山科まち美化事務所	573-2457	環境管理課	213-0930
南部まち美化事務所	681-0456	環境指導課	213-0928
西部まち美化事務所	882-5787	循環企画課	213-4930
西京まち美化事務所	391-5983	まち美化推進課	213-4960
伏見まち美化事務所	601-7161	事業系廃棄物対策室	366-1394
北エコまちステーション	366-0155	施設管理課	212-9820
上京エコまちステーション	366-0776	施設整備課	212-8500
左京エコまちステーション	366-0821	大型ごみ、ペットの死体に関するお問い合わせ	
中京エコまちステーション	366-0180	大型ごみ（通話料無料）	0120-100-530
東山エコまちステーション	366-0182	携帯から（通話料有料）	0570-000-247
山科エコまちステーション	366-0184	ペットの死体（通話料無料）	0120-100-921
下京エコまちステーション	366-0186	携帯から（通話料有料）	0570-000-614
南エコまちステーション	366-0188	し尿のくみ取り(収集作業)に関するお問い合わせ	
右京エコまちステーション	366-0190	生活環境美化センター	681-5361
西京エコまちステーション	366-0192	持込ごみに関するお問い合わせ	
洛西エコまちステーション	366-0194	南部クリーンセンター	611-5362
伏見エコまちステーション	366-0196	東北部クリーンセンター	741-1003
深草エコまちステーション	366-0198	東部クリーンセンター	572-8411
醍醐エコまちステーション	366-0311	その他の施設	
公害及び浄化槽に関するご相談		北部クリーンセンター	873-3020
北部環境共生センター	451-0211	埋立事業管理事務所	572-8465
南部環境共生センター	671-0511	魚アラリサイクルセンター	622-3207

詳しい情報はホームページでもご覧いただけます。

京都市 環境

検索

平成24年度 環境政策局運営方針 平成24年4月発行
京都市環境政策局 環境企画部 環境総務課

〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地
E-mail kankyosomu@city.kyoto.jp